

令和3年 秋期釜利谷地区推進連絡会

1 日時

令和3年11月1日（月）17:00～19:00

2 場所

釜利谷地区センター 中小会議室

3 参加者

（地域側）自治会等地域団体関係 23名

（支援チーム、その他行政側）

区役所 5名

区社会福祉協議会、地域ケアプラザ 2名

4 釜利谷地区地域福祉保健計画について【各団体の発表】

○保健活動推進委員会

- ・認知症理解の推進：2年の任期の初年度にサポーター講座を開催
- ・親子ほっとサロンでは母親の健康に関する企画

○シニアクラブ

- ・屋外活動ラジオ体操やゲートボール、グランドゴルフなどを主体に活動中、会員の高齢化と減少が課題

○民生・児童委員協議会

- ・コロナ禍で誰とも話さない、合わない接しない高齢者がいる。
- ・訪問時民生委員に買い物を頼まれる時がある、そういう時はお助け隊を紹介している。
- ・民生委員は36人でリモート会議等も実施している。

○主任児童委員

- ・入学式や運動会で学校に行くと雰囲気伝わってくるが今はそれができない。

○子育て連絡会

- ・親子ほっとサロンは現在2か所で実施中
- ・釜利谷地域ケアプラザでの親子ほっとサロンは月1だが、お母さんの地域デビューのきっかけになればよい。
- ・釜利谷は公園が多くあるが、遊ぶ相手がいないこともあるようだ。

○保護司会

- ・コロナ禍でも保護観察対象者との面談は電話や感染対策を行い実施
- ・面談では犯罪を犯した人という偏見は持たずに一人の人として対応している。

- ・本当に必要なのは、犯罪・再犯の防止で誤ってしまったひとが更生することや、被害にあった人の生活が回復されること。
- ・追及や断罪ではなく、傷を癒すことが大切。
- ・お手本になれる人や寄り添ってくれる人の存在が必要

○更生保護女性会

- ・社会を明るくする運動：犯罪を無くすためにはどうすればいいか考える団体
- ・資格が無くても気づくところはできる、おせっかいは大事です。

○スポーツ推進員協議会

- ・公園の管理運営として草刈りをして、活動再開の準備をしている。
- ・3月には、成人ソフトや卒業記念球技大会をぜひやりたい。

○ホイール若菜

- ・障害児者の活動支援、特に登下校の支援をしていた。現在は休止の状態
- ・最近放課後児童デイが、学校まで迎えに来てくれている。

○かまりやお助け隊等

『ちょいボラによる地域の支えあい活動』（新規事業）

- ・かまりやお助け隊は、もともと、小泉町内会のお助け隊として、5年前に発足。民生委員として訪問すると色々な事を頼まれる。その都度人を探していたが1人では限界となり小泉町内会の会長に声をかけてボランティアの募集を始めた。
- ・助成金をもらいはじめたので、小泉の中だけで終わるのではなく、地域に広げるため、小泉おたすけ隊からかまりやお助け隊に名前を変えて活動をはじめた。
- ・今年は4月～10月で、90回活動、ボランティアは19名が所属

『多世代やボランティアの場づくり』（新規事業）

- ・小泉町内の普通の民家（空き家）をリノベーションした「八景市場 ANNEX」、というシェアハウスで1階をオープンスペース（予定）として関東学院の建築・環境学部の専任講師と学生が運営を始めた。学生達は地域のラジオ体操に参加している。少しでも近隣の賛同を得て行きたいと努力しているが、なかなか進んでいない。

○社会福祉協議会

- ・今後も『広報紙の発行』『社会を明るくする運動の地区大会』『地域の資源を生かした自主事業の継続』を行っていく。
- ・ちょいボラなど、新しい事業についても進める。また、移動販売「安心お届け便」は、今日（11月1日）からパークタウンの公園が追加され巡回が始まった。

